



平成21年4月号

発行日 平成21年 4月22日発行

発行者 広島経済同友会尾道支部

住 所 尾道市土堂2-10-3 商工会議所ビル3F

Tel 0848-23-2222 Fax 0848-23-3333

E-mail: onodoyuk@urban.ne.jp

「尾道ならでは、この時ならでは」

— 再任挨拶 —

広島経済同友会尾道支部

支部長 徳永 修



この度、広島経済同友会尾道支部の支部長に再任され、責任の重大さを改めて痛感しております。浅学非才ではございますが、責務を全うする所存でございますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

昨年度は例会出席、役員会出席の増加に見られましたように同友会活動を活発に行って頂き、さらに教育に関する提言書を出すに至りました。皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

平成21年度は基本的には前年度を踏襲いたしますが、教育提言に続き、新尾道市研究として市議会・市政のあり方に関する研究、道州制・州都に関する研究、ICTユビキタスに関する研究等、経済団体として尾道らしい観点からの研究・提言などを進め、同友会活動を活発に続けてまいります。

また、それと同時に、3年に1度の備後都市懇話会を開催する順番にあたっておりますので、尾道ならでは、この時ならではの、意義のある懇話会にしたいと思っております。

平成21年度事業計画

I 基本方針

昨年の諸物価の高騰により我が国の景気は既にピークアウトし下降へ向かっていたが、サブプライム金融恐慌の勃発により世界中で急激な経済の収縮がシンクロして起こり、これらがあいまって日本は戦後最大の不況に見舞われている。

尾道の経済は、造船関連業種が受注を高水準で維持している以外は、この不況の影響を免れておらず、非常に厳しい環境下にある。そのような状況ではあるが、尾道市は今年度しまなみ海道開通10周年を迎え、新たな展望を模索しようとしている。

この節目にあたり、「尾道松江線」と「しまなみ海道」—中国地方の「縦軸」を中心に見据えるまちづくりを考える絶好の機会と捉え、我々広島経済同友会尾道支部は昨年度より取り組んで来た諸問題—教育問題、広域行政問題、道州制・州都問題、まちづくりに関する問題、ICT・ユビキタス問題等を継続発展させて研究し、さらに、15万人都市として尾道のあるべき姿、市行政や市議会の機能等の問題も調査し提言する。

また、今年度担当する備後都市懇話会に関しては、「しまなみ海道」を舞台に取り組む予定である。

II 重点目標

- 『尾道教育会議』への支援を通じて、教育行政の方向について研究する。
- しまなみ海道開通10周年を踏まえ、近隣諸都市、四国、山陰地方との交流を通じ、「さまざまな広域圏」のあり方を研究する。
- 人口15万人の歴史文化都市としての在り方や機能に関して研究し、さらに道州制の議論を進める中で「中国州都」として必要な機能は何か、都市格とはどうあるべきか等を研究する。
- 典型的な地方都市「おのみち」における、ICT、ユビキタス、マルチメディアの可能性について研究する。
- 備後都市懇話会を「しまなみ海道」を舞台に企画し開催する。